

平成29年度 杉並区施策評価表 I

(00008)

施策	08	水とみどりのネットワークの形成
目標	03	みどり豊かな環境にやさしいまち
施策担当課	みどり公園課	関係課 土木計画課

施策目標
住宅都市に調和したみどりと建物でまちなみが構成され、自然が回復した川と古くからある屋敷林や農地が点在するなど、誰もが自然と共存することに感動と親しみを持つことができる成熟したまちづくりが着実に進んでいます。
防災機能を併せ持つ公園やオープンスペースが整備され、みどりがつながり、みどりの総量も増加しています。

活動指標		成果指標	
指標名(1)	接道部緑化助成延長	指標名(1)	緑被率
算式・指標説明	目標値は実行計画数値	算式・指標説明	目標値はみどりの基本計画における30年度目標値、実績値は24年度みどりの実態調査による(5年に1度)
指標名(2)	保護樹木指定本数	指標名(2)	区民一人当たりの都区立公園面積
算式・指標説明	目標値は実行計画数値	算式・指標説明	公園緑地等面積÷人口
指標名(3)	区立公園管理面積	指標名(3)	
算式・指標説明		算式・指標説明	
指標名(4)	当該年度に整備した公園面積	指標名(4)	
算式・指標説明		算式・指標説明	
		指標名(5)	
		算式・指標説明	
		指標名(6)	
		算式・指標説明	

区分	単位	平成26年度	平成27年度		平成28年度		目標値	目標年度	
		実績	計画	実績	計画(目標値)	実績			
活動指標	活動指標(1)	1	m	498	350	213	350	119	
	活動指標(2)	2	本	1,580	1,800	1,585	1,800	1,560	
	活動指標(3)	3	m ²	614,462	621,452	614,462	652,312	649,821	
	活動指標(4)	4	m ²	2,089	6,990	6,990	30,860	34,573	
成果指標	成果指標(1)	5	%	22.17	23	22.17	23	22.17	25 平成44年度
	成果指標(2)	6	m ²	2.05	2.08	2.04	2.08	2.08	2.46 平成33年度
	成果指標(3)	7							
	成果指標(4)	8							
	成果指標(5)	9							
	成果指標(6)	10							
施策コスト	事業費	11	千円	2,032,995	3,116,695	3,006,179	2,938,167	2,775,210	特記事項
	(内) 投資的経費等	12	千円	934,158	1,956,026	1,600,297	1,491,737	1,103,053	
	(内) 委託費	13	千円	1,139,356	1,578,191	1,499,004	2,139,408	2,013,303	
	常勤職員数	14	人	50.02	45.90	48.96	46.40	49.49	
	再任用職員数	15	人	48.02	39.00	39.01	36.00	36.03	
	非常勤職員数	16	人	14.68	20.59	20.59	18.37	16.02	
	人件費(14+15+16)	17	千円	676,705	620,601	650,150	608,784	629,502	
	総事業費(11+17)	18	千円	2,709,700	3,737,296	3,656,329	3,546,951	3,404,712	
	国・都からの補助金等	19	千円	428,463	548,000	373,687	395,950	200,855	
	総事業費伸び率(計画、実績の対前年度比)	20	%			34.9	5.1	6.9	
人件費比率(17÷18)	21	%	25.0	16.6	17.8	17.2	18.5		

<p>施策を取り巻く環境 (社会情勢、国・都の動き、 区民意見等)</p>	<p>昭和47年に実施した「杉並区緑化基本調査」では、緑被率は24.02%でした。その後の調査において緑被率は減少し、平成9年の調査では17.59%まで落ち込みました。現在、緑化意識の向上や緑化技術の進展により、緑被率は22.17%(平成24年度調査)まで回復しましたが、まちの歴史とともに育まれてきた杉並の原風景を代表する屋敷林や農地は、この30年あまりで半減するなど、減少の一途をたどっています。平成27年度には、東京都と区市町村が合同で策定した「緑確保の総合的な方針(平成22年5月)」を改定して、東京に残された貴重なみどりを次世代に引き継ぐ施策に取り組んでいます。東日本大震災後、防災機能を備えた公園や災害時の避難場所となるオープンスペースの確保が求められています。また、公園利用者は多世代に及んでいるため区民ニーズに即した公園整備が求められています。</p>
---	--

<p>施策の総合評価 (計画事業の取組実績と 評価結果)</p>	<p>民有緑地の保全や創出に取り組むとともに公園等の整備を進め、みどりのネットワークの形成を図っています。みどりのベルトづくり制度を周知する普及啓発講座の開催やみどりの顕彰「みんなで楽しむ杉並のみどり」の募集を通じて、道路から見ることのできる植栽について区民に啓発しました。「杉並区緑地保全方針」のモデル地区では、ボランティア組織「みどりの支援隊」を発足するとともに、東京都の「農の風景育成地区」の指定を受けました。保護指定制度については民間と公共あわせて貴重木100本の指定を目指すほか、建築行為等に伴う緑化計画や緑化助成の促進等により新たなみどりを創出しています。区内の3河川では、都と連携した河川整備を進め、安全で魅力的な水辺環境の創出に努めてきました。また、区民とともに多様な動植物が生息・生育・繁殖できる水辺環境の再生・創出を進めるため、善福寺川の水鳥一斉調査や善福寺公園内水路の親水施設整備に向けた詳細設計を実施しました。区立公園の面積は、前年度比35,359㎡の増となり、区民一人当たりの公園面積は増加しました。防災交流テラスや災害時にヘリコプターの離発着が可能な芝生広場など防災機能を持った「下高井戸おおぞら公園」を整備しました。(仮称)荻外荘公園では、保存活用計画を策定し、復原整備の準備として建物がある敷地北側の遺構調査を行いました。また、昨年引き続き乳幼児が安心して遊べる「すくすくひろば」を5公園に整備し、特色ある公園づくりを進めました。</p>
--	---

<p>改善・見直しの方向 中長期</p>	<p>今後の施策の方向性 拡充</p> <p>今後の進め方</p> <p>杉並区のみどりは、屋敷林や農地をはじめ民有地のみどりが全体の約7割を占めています。「杉並区緑地保全方針」に基づくモデル地区での先行取組の検証結果を踏まえて、杉並らしいみどりの保全の取組につなげます。新たに発足したボランティア組織「みどりの支援隊」と協働しながら、屋敷林所有者、住民と意見交換を行い、地域と一緒に屋敷林等民有地のみどりを保全する取組を進めていきます。さらに、保護指定や市民緑地等の制度を活用し、区内全域のみどりの保全に努めるとともに、緑化計画や緑化助成の促進等による新たなみどりの創出も進めます。水辺環境の整備については、善福寺公園内水路の親水施設としての再整備や、水鳥一斉調査の実施などにより、環境への関心を高め意識啓発を図るとともに、東京都をはじめとした関係機関との連携により、自然に配慮した河川整備に引き続き取り組みます。区立公園の整備については、区民の多様なニーズに答えるため、防災機能を備えた公園や、多世代の人たちが安全に安心して利用できる公園を整備していきます。(仮称)荻外荘公園は、今後、整備基本計画を策定し、近衛文麿の政治の場となった時代(昭和初期)の復原によって、魅力的な公園整備を進めていきます。</p>
--------------------------	--

平成29年度 杉並区施策評価表Ⅱ（施策を構成する事務事業）

【施策 08】【施策名称 水とみどりのネットワークの形成】

金額の単位は千円

(00008)

整理番号	事務事業名称	位置付		平成28年度 事業費	人件費 (再任用・ 非常勤 含)	総事業費	施策から見た 事業の方向性
		実行計画 事業	主要事業				
1 430	水辺環境の整備			13,040	16,097	29,137	現状維持
2 443	公園の維持管理			873,515	287,194	1,160,709	現状維持
3 444	公園事業			63,064	28,255	91,319	現状維持
4 445	遊び場の維持管理			150,833	36,871	187,704	現状維持
5 446	公園等の整備			1,414,028	62,759	1,476,787	現状維持
6 447	公園のリニューアル			27,138	16,290	43,428	推進(拡充)
7 449	みどりを育てる			10,874	36,373	47,247	推進(拡充)
8 450	みどりを創る			98,181	56,381	154,562	現状維持
9 451	みどりを守る			60,337	38,891	99,228	現状維持
10 452	みどりの基金			3,789	2,141	5,930	推進(拡充)
11 453	公衆便所の維持管理			20,479	10,724	31,203	現状維持
12 454	公園緑地事務所等の管理運営			39,932	37,526	77,458	現状維持
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
合計				2,775,210	629,502	3,404,712	

施策を構成する 事務事業に関する特記事項	
-------------------------	--

平成29年度 杉並区施策評価表 I

(00009)

施策	09	持続可能な環境にやさしい住宅都市づくり
目標	03	みどり豊かな環境にやさしいまち
施策担当課	環境課	関係課 経理課

施策目標 各家庭や事業所、公共施設等において再生可能エネルギーの導入が進み、杉並産エネルギーが拡大するとともに、一層の省エネ・低炭素化の取組が定着し、災害に強く快適で環境にやさしい住宅都市づくりが進んでいます。
生活環境の改善に向けた様々な取組が各地域で活発に展開されるとともに、環境に対する区民の意識が向上しています。
区立学校での環境教育をはじめ、あらゆる機会を利用した環境学習が多く開催され、児童・生徒を含む多くの区民が環境についての理解を深めています。

活動指標		成果指標	
指標名(1)	太陽光発電システム機器設置助成件数	指標名(1)	区内の年間二酸化炭素排出量比率(平成17年度比)
算式・指標説明		算式・指標説明	
指標名(2)	区立学校等への太陽光発電機器・蓄電池の設置件数	指標名(2)	区内太陽光発電による発電量
算式・指標説明		算式・指標説明	区内太陽光発電機器設置数より年間発電量を推計
指標名(3)	地域清掃活動従事団体数	指標名(3)	環境に配慮した取組を行っている区民の割合
算式・指標説明		算式・指標説明	区民意向調査による
指標名(4)		指標名(4)	
算式・指標説明		算式・指標説明	
		指標名(5)	
		算式・指標説明	
		指標名(6)	
		算式・指標説明	

区分	単位	平成26年度	平成27年度		平成28年度		目標値	目標年度
		実績	計画	実績	計画(目標値)	実績		
活動指標	活動指標(1)	1 件	223	500	156	500	117	
	活動指標(2)	2 所	0	13	13	14	14	
	活動指標(3)	3 団体	102	180	100	180	93	
	活動指標(4)	4						
成果指標	成果指標(1)	5 %	105.8	98.5	104.0	98.0	99.1	96.2 平成33年度
	成果指標(2)	6 万kWh	1,495	1,500	1,658	1,682	1,739	2,280 平成33年度
	成果指標(3)	7 %	81.9	92	81.4	94	82.4	100 平成33年度
	成果指標(4)	8						
	成果指標(5)	9						
	成果指標(6)	10						
施策コスト	事業費	11 千円	294,397	592,063	540,830	578,703	516,149	特記事項
	(内)投資的経費等	12 千円	0	243,725	217,093	266,304	232,692	
	(内)委託費	13 千円	206,071	480,226	440,148	466,313	420,029	
	常勤職員数	14 人	16.21	14.60	15.01	13.60	14.00	
	再任用職員数	15 人	3.00	3.00	3.00	3.00	3.01	
	非常勤職員数	16 人	4.87	6.99	5.79	6.28	7.77	
	人件費(14+15+16)	17 千円	168,742	160,558	160,706	149,810	156,168	
	総事業費(11+17)	18 千円	463,139	752,621	701,536	728,513	672,317	
	国・都からの補助金等	19 千円	1,500	143,266	120,760	154,466	152,357	
	総事業費伸び率(計画、実績の対前年度比)	20 %			51.5	3.2	4.2	
人件費比率(17÷18)	21 %	36.4	21.3	22.9	20.6	23.2		

<p>施策を取り巻く環境 (社会情勢、国・都の動き、 区民意見等)</p>	<p>平成27年12月にパリで開催された第21回気候変動条約締約国会議(COP21)において、京都議定書以降の国際的な地球温暖化対策の枠組みを定める「パリ協定」に、196の国と地域が合意しました。パリ協定では、産業革命前からの地球の平均気温上昇を今世紀末に2(現在は0.85)より低くする目標を掲げています。</p> <p>国は、平成28年5月に温暖化対策計画を閣議決定しました。この計画では、2030年度に2013年度比で26%削減するとの中期目標について、各主体が取り組むべき対策や国の施策を明らかにし、削減目標達成への道筋を付けるとともに、長期的目標として2050年までに80%の温室効果ガスの排出削減を目指すことを位置付けています。</p>
---	--

<p>施策の総合評価 (計画事業の取組実績と 評価結果)</p>	<p>再生可能エネルギーの活用拡大に向け、太陽光発電機器及び蓄電池を震災救済所(区立小中学校等)に設置することに加え、区民に対する低炭素化推進機器(太陽光発電機器等)の設置助成を行いました。また、区役所における省エネ対策を一層推進するため、本庁舎の照明設備のLED化工事に着手しました。</p> <p>さらに、燃料電池自動車を活用した環境学習を新たに開始し、区内自動車学校との連携のもと、クリーンエネルギーの普及啓発を行いました。</p> <p>このほか区立学校10校の児童・生徒が、身近な河川や森林の生き物調査、資源循環などについての学習成果を共有する「小中学生環境サミット」を開催しました。</p> <p>環境美化の取組では、路上禁煙地区での喫煙禁止及び区内全域における歩きタバコ・ポイ捨て禁止の指導、マナー啓発活動を引き続き行いました。加えて区民の自主的な取組である地域清掃活動には、17,000人を超える団体や個人が参加し、こうした取組によりまちの美化が保たれています。樹木繁茂など適切な管理が行われていない土地又は建築物については所有者等に適切な管理を行うよう助言・指導をすることで、管理の適正化が図られつつあります。</p>
--	--

<p>改善・見直しの方向 中長期</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="379 813 718 862"> <p>今後の施策の方向性</p> </td> <td data-bbox="718 813 1560 862"> <p>現状維持</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="379 862 718 1211"> <p>今後の進め方</p> </td> <td data-bbox="718 862 1560 1211"> <p>地球温暖化防止への取組として太陽光発電機器等の普及を図り、二酸化炭素排出量の削減に努めます。</p> <p>また、「環境に配慮した取組を行っている区民の割合」が目標に達していないことからマイバックの利用を引き続き推進するとともに、環境学習について、小中学校が学習の成果を発表し合う「小中学生環境サミット」への参加校拡大に向け、効果的な手法を検討していきます。あわせて、環境活動推進センターにおける環境講座や、燃料電池自動車を活用したクリーンエネルギーの普及啓発などを行い、区民の環境意識の向上を図ります。</p> <p>自然環境調査に関しては調査の効率化を図り、その結果をホームページやナビへ掲載するほか、カラー刷り概要版を作成するなど周知方法の更なる工夫をしていきます。</p> <p>さらに、安全美化条例による路上禁煙地区での指導や区内全域における歩きタバコ・ポイ捨て禁止の指導など、マナー啓発活動を引き続き実施するとともに、適切な管理が行われていない土地又は建築物の所有者等に対しては、改善に向けて助言・指導を粘り強く行っていきます。</p> <p>「杉並区環境基本計画」の改定は、目標値の見直しを含めて検討を進めていきます。</p> </td> </tr> </table>	<p>今後の施策の方向性</p>	<p>現状維持</p>	<p>今後の進め方</p>	<p>地球温暖化防止への取組として太陽光発電機器等の普及を図り、二酸化炭素排出量の削減に努めます。</p> <p>また、「環境に配慮した取組を行っている区民の割合」が目標に達していないことからマイバックの利用を引き続き推進するとともに、環境学習について、小中学校が学習の成果を発表し合う「小中学生環境サミット」への参加校拡大に向け、効果的な手法を検討していきます。あわせて、環境活動推進センターにおける環境講座や、燃料電池自動車を活用したクリーンエネルギーの普及啓発などを行い、区民の環境意識の向上を図ります。</p> <p>自然環境調査に関しては調査の効率化を図り、その結果をホームページやナビへ掲載するほか、カラー刷り概要版を作成するなど周知方法の更なる工夫をしていきます。</p> <p>さらに、安全美化条例による路上禁煙地区での指導や区内全域における歩きタバコ・ポイ捨て禁止の指導など、マナー啓発活動を引き続き実施するとともに、適切な管理が行われていない土地又は建築物の所有者等に対しては、改善に向けて助言・指導を粘り強く行っていきます。</p> <p>「杉並区環境基本計画」の改定は、目標値の見直しを含めて検討を進めていきます。</p>
<p>今後の施策の方向性</p>	<p>現状維持</p>				
<p>今後の進め方</p>	<p>地球温暖化防止への取組として太陽光発電機器等の普及を図り、二酸化炭素排出量の削減に努めます。</p> <p>また、「環境に配慮した取組を行っている区民の割合」が目標に達していないことからマイバックの利用を引き続き推進するとともに、環境学習について、小中学校が学習の成果を発表し合う「小中学生環境サミット」への参加校拡大に向け、効果的な手法を検討していきます。あわせて、環境活動推進センターにおける環境講座や、燃料電池自動車を活用したクリーンエネルギーの普及啓発などを行い、区民の環境意識の向上を図ります。</p> <p>自然環境調査に関しては調査の効率化を図り、その結果をホームページやナビへ掲載するほか、カラー刷り概要版を作成するなど周知方法の更なる工夫をしていきます。</p> <p>さらに、安全美化条例による路上禁煙地区での指導や区内全域における歩きタバコ・ポイ捨て禁止の指導など、マナー啓発活動を引き続き実施するとともに、適切な管理が行われていない土地又は建築物の所有者等に対しては、改善に向けて助言・指導を粘り強く行っていきます。</p> <p>「杉並区環境基本計画」の改定は、目標値の見直しを含めて検討を進めていきます。</p>				

平成29年度 杉並区施策評価表Ⅱ（施策を構成する事務事業）

【施策 09】【施策名称 持続可能な環境にやさしい住宅都市づくり】

金額の単位は千円

(00009)

整理番号	事務事業名称	位置付		平成28年度 事業費	人件費 (再任用・ 非常勤 含)	総事業費	施策から見た 事業の方向性
		実行計画 事業	主要事業				
1 030	区役所本庁舎施設整備			93,342	856	94,198	推進(拡充)
2 456	環境保全の普及啓発			979	15,704	16,683	縮小(廃止)
3 457	杉並産エネルギーの創出と省エネルギーの推進			296,021	22,664	318,685	現状維持
4 458	環境配慮行動の推進			2,194	15,220	17,414	現状維持
5 459	安全美化条例に基づく生活環境の改善			19,469	30,970	50,439	現状維持
6 460	カラス・ねずみ・蜂類の駆除相談			7,074	10,991	18,065	現状維持
7 461	公害等防止			1,600	25,551	27,151	縮小(廃止)
8 462	大気や河川水質などの環境実態調査			20,478	20,775	41,253	現状維持
9 463	自然環境の保全			296	4,875	5,171	現状維持
10 475	環境活動推進センター等の事業運営			74,696	8,562	83,258	現状維持
11	以下再掲事業分の評価表						
12 436	街路灯の新設・改修						
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
合計				516,149	156,168	672,317	

施策を構成する 事務事業に関する特記事項	
-------------------------	--

平成29年度 杉並区施策評価表 I

(00010)

施策	10	ごみの減量と資源化の推進
目標	03	みどり豊かな環境にやさしいまち
施策担当課	ごみ減量対策課	関係課 杉並清掃事務所

施策目標
 ごみの減量・資源化に向けて区民が主体となった取組が着実に進められ、資源回収量が増加し、ごみ量は着実に減少しています。集積所へのごみ出しルール・マナーが守られ、空き地や私道への不法投棄も減少し、まちの美観が保たれています。また、カラス対策の効果が上がり、集積所のごみの散乱は年々減少しています。

活動指標		成果指標	
指標名(1)	ごみの収集量	指標名(1)	区民一人1日当たりのごみ排出量
算式・指標説明	可燃、不燃、粗大の収集量	算式・指標説明	年間可燃ごみ・不燃ごみ・粗大ごみ量÷人口÷365日
指標名(2)	資源の回収量	指標名(2)	資源回収率
算式・指標説明	資源回収量(行政回収分)	算式・指標説明	資源回収量÷(区ごみ収集量+資源回収量)
指標名(3)		指標名(3)	杉並区のまちを美しいと思う人の割合
算式・指標説明		算式・指標説明	区民意向調査による
指標名(4)		指標名(4)	
算式・指標説明		算式・指標説明	
		指標名(5)	
		算式・指標説明	
		指標名(6)	
		算式・指標説明	

区分	単位	平成26年度	平成27年度		平成28年度		目標値	目標年度	
		実績	計画	実績	計画(目標値)	実績			
活動指標	活動指標(1)	1 t	99,555	99,497	98,828	98,536	96,630		
	活動指標(2)	2 t	31,491	32,675	31,152	32,851	30,168		
	活動指標(3)	3							
	活動指標(4)	4							
成果指標	成果指標(1)	5 g	498	505	490	490	474	460 平成33年度	
	成果指標(2)	6 %	28.5	28.9	28.4	29.1	28.1	33 平成33年度	
	成果指標(3)	7 %	78.0	80.3	78.9	81.0	78.4	85 平成33年度	
	成果指標(4)	8							
	成果指標(5)	9							
	成果指標(6)	10							
施策コスト	事業費	11 千円	4,333,651	4,526,966	4,407,749	4,527,560	4,421,377	特記事項	
	(内)投資的経費等	12 千円	0	0	0	0	0		
	(内)委託費	13 千円	4,066,101	4,227,334	4,154,604	4,224,948	4,159,798		
	職員数	常勤職員数	14 人	254.44	234.70	251.92	231.35		245.81
		再任用職員数	15 人	17.03	14.00	14.31	12.00		12.77
		非常勤職員数	16 人	1.75	3.75	2.75	3.75		3.75
	人件費(14+15+16)	17 千円	2,315,543	2,135,022	2,270,844	2,084,295	2,171,827		
	総事業費(11+17)	18 千円	6,649,194	6,661,988	6,678,593	6,611,855	6,593,204		
	国・都からの補助金等	19 千円	361,707	362,610	322,495	387	267		
	総事業費伸び率(計画、実績の対前年度比)	20 %			0.4	0.8	1.3		
人件費比率(17÷18)	21 %	34.8	32.0	34.0	31.5	32.9			

<p>施策を取り巻く環境 (社会情勢、国・都の動き、 区民意見等)</p>	<p>平成25年4月から「使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律」が施行され、杉並区は平成25年10月から小型家電15品目の拠点回収を開始しました。集積所の管理や、ごみ・資源の分け方・出し方に関する質問や苦情・要望が多く寄せられており、特に戸別収集の要望や外国人に対する分別方法等の周知を求める意見が多くなってきています。資源の持ち去り行為に対して、区民から目撃情報が寄せられており、禁止命令書の交付、氏名等の公表だけでなく、さらに厳しい対応を求める要望があります。清掃作業中の交通事故ゼロ、作業事故ゼロに向けた取組の強化を望む意見が寄せられています。ごみの減量に対する意識向上等のために発行している清掃情報紙「ごみバックン」等はおおむね好評を得ており、特に「ごみバックン」については、「シンプルながら要点がわかりやすい」等の意見をいただいています。</p>
---	--

<p>施策の総合評価 (計画事業の取組実績と 評価結果)</p>	<p>「ごみバックン」等の清掃情報紙やごみ・資源の収集カレンダー、ごみ出しアプリによるごみの分別・ごみ出しルールの周知徹底、資源の集団回収事業の拡充など、ごみの減量・資源化に対する区民への意識啓発を行いました。また、応募があった小学4～6年生を対象に専用手帳を用いて家庭のごみ量を計測・記録してもらい、子どもの頃から家庭内のごみを減量する必要性とその方法を学んでもらうなど、環境に配慮する意識の醸成に努めました。これらの取組により、平成28年度のごみの排出量は、平成27年度より2,198 t減少し、96,630 tとなり、区民一人1日当たりのごみ排出量は6年連続で23区最少となる474 gになりました。一方、資源回収量は、従来までの回収品目(古紙・びん・缶・ペットボトル・プラスチック製容器包装)の30,168 tに加え、平成25年度から順次実施している再資源化事業(粗大ごみ、小型家電、不燃ごみ)の有効金属類の1,218 tと集団回収分の6,330 tを合わせて37,716 tとなりました。資源回収率については、目標を下回っているため、資源化に向けた取組を更に進めていきます。</p>
--	--

<p>改善・見直しの方向 中長期</p>	<p>今後の施策の方向性 効率化</p> <p>建替中の杉並清掃工場が平成29年10月から本格稼働することを契機に、ごみの収集体制を見直すとともに、偏りのある不燃ごみの収集エリアを均等化するなど、収集方法の効率化を図ります。また、更なるごみ減量に向け、可燃ごみの約4% (3,400 t) を占める未利用食品(事業者による食品の売れ残りや家庭から排出された消費期限切れ食品等)の発生を抑制するため、フードドライブ等の食品ロス削減に向けた取組を進めていきます。さらに、ごみの減量、資源化の必要性、分別の徹底などを区民に周知するため、「ごみバックン」等の清掃情報紙の発行、ごみ・資源の収集カレンダーの配布、ごみ出しアプリの配信等を引き続き行っていくとともに、年々増加している外国人居住者にもわかりやすいように、イラストを多用した看板への交換や、粗大ごみ受付システムや電話受付の際の多言語対応を行っていきます。なお、区民から要望の多い、資源持ち去り対策については撲滅を目指し、今後も早朝パトロール、早朝回収等を実施し、粘り強く対応していきます。</p> <p>今後の進め方</p>
--------------------------	---

平成29年度 杉並区施策評価表Ⅱ（施策を構成する事務事業）

【施策 10】【施策名称 ごみの減量と資源化の推進】

金額の単位は千円

(00010)

整理番号	事務事業名称	位置付		平成28年度 事業費	人件費 (再任用・ 非常勤 含)	総事業費	施策から見た 事業の方向性
		実行計画 事業	主要事業				
1 465	一般廃棄物処理管理事務			1,689	16,031	17,720	現状維持
2 466	ごみの減量と資源化の推進			83,032	61,914	144,946	現状維持
3 467	ごみ・し尿の収集・運搬			1,643,145	1,425,504	3,068,649	現状維持
4 468	ごみ運搬の中継業務			229,290	12,586	241,876	現状維持
5 469	資源の回収			2,270,872	74,715	2,345,587	現状維持
6 470	ごみ・資源の排出の適正管理			63,377	292,709	356,086	現状維持
7 473	清掃車の運行及び維持管理			27,215	243,700	270,915	現状維持
8 474	杉並清掃事務所の維持管理			102,757	44,668	147,425	現状維持
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
合計				4,421,377	2,171,827	6,593,204	

施策を構成する 事務事業に関する特記事項	
-------------------------	--